



令和 7 年 9 月 5 日
東 京 税 関

輸入差止点数が 9 年連続で 10 万点超え

～令和 7 年上半期の東京税関における知的財産侵害物品の差止状況（速報）～

（全体）差止点数 16 万点超、9 年連続で 10 万点超え

- ・ 差止点数は 168,800 点（前年同期比 41.8%）で、9 年連続で 10 万点超えとなりました。
- ・ 差止点数は全国に 9 つある税関全体の約 4 割を占めました。
- ・ 差止件数は 2,268 件（同 87.9%）となりました。

（仕出国・地域）差止めの 6 割を中国来が占める

- ・ 差止点数の 59.7%を占める 100,833 点（同 26.7%）が中国来でした。
- ・ 差止件数は中国来が全体の 61.1%を占め、1,386 件（同 84.5%）となりました。

（知的財産別）差止点数が多かったのは、著作権、商標権

- ・ 差止点数では、アニメやゲーム等のキャラクターを模倣した著作権侵害物品が全体の 59.6%を、ブランドロゴ等を模倣した商標権侵害物品が 26.1%を占めました。
- ・ 差止件数では商標権侵害物品が 2,074 件と、全体の 90.6%を占めています。

（品目別）健康や安全を脅かす危険性のある知的財産侵害物品が多数

- ・ 電気製品、煙草及び喫煙用具、自動車付属品等、健康や安全を脅かす危険性のある物品の差止めが続いています。

【お問い合わせ先】
東京税関 税関広報広聴室
TEL 03-3599-6264
FAX 03-3599-6442

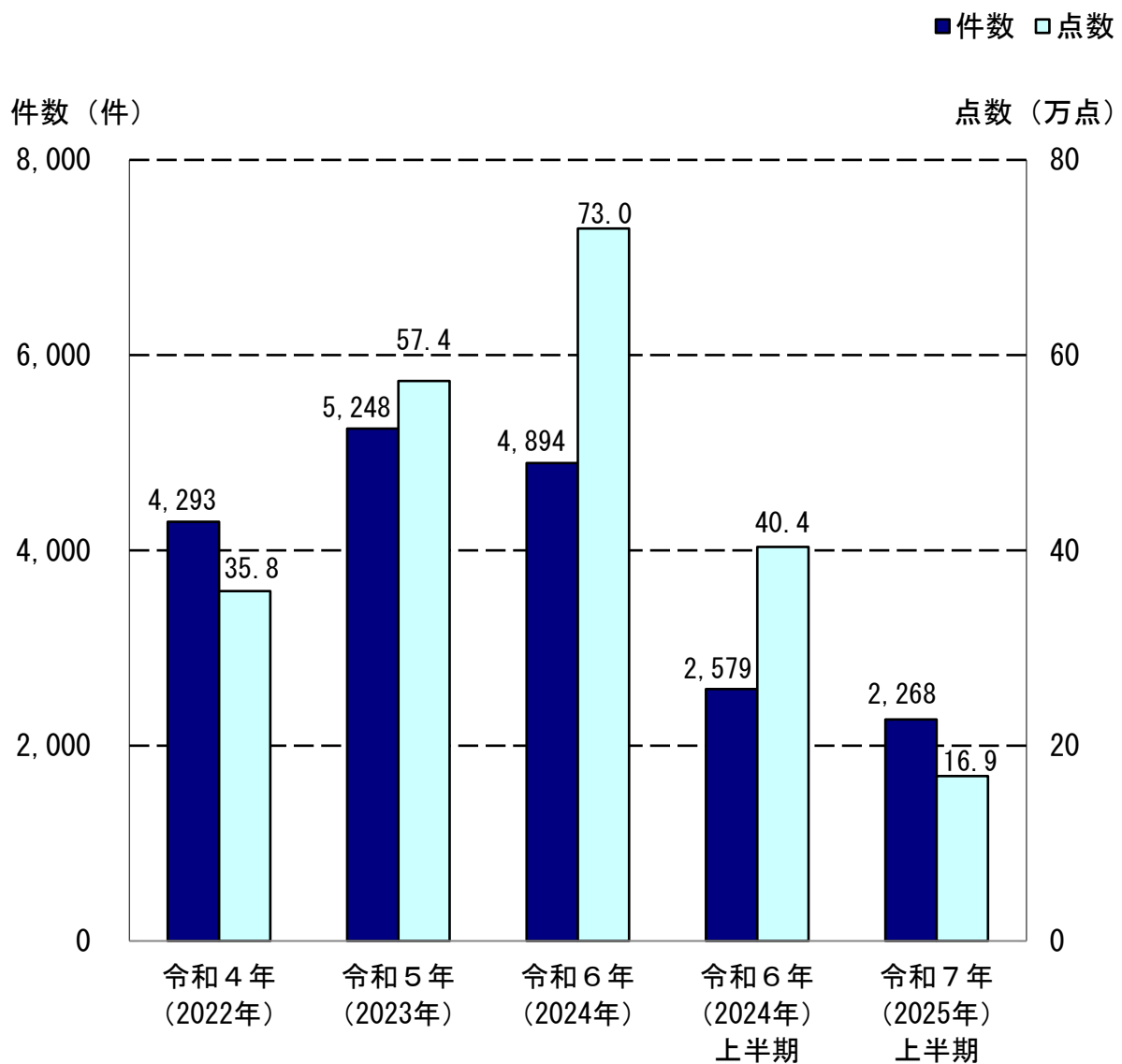
令和7年上半期における知的財産侵害物品の差止状況（詳細）

「差止件数」とは、税関が差し止めた知的財産侵害物品の輸入申告及び郵便物の数です。

「差止点数」とは、税関が差し止めた知的財産侵害物品の数です。

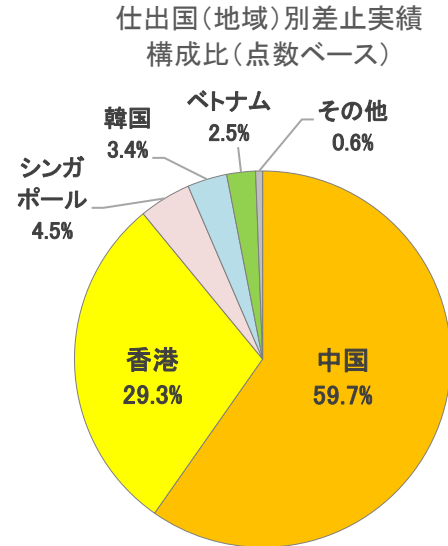
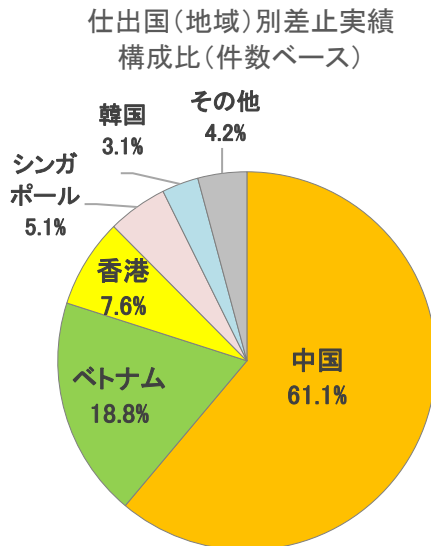
例えば、1つの輸入申告において、20点の知的財産侵害物品が含まれていた場合は、1件20点として計上しています。

知的財産侵害物品の輸入差止実績 令和4年～令和7年（2022年～2025年）上半期



○仕出国（地域）別輸入差止実績

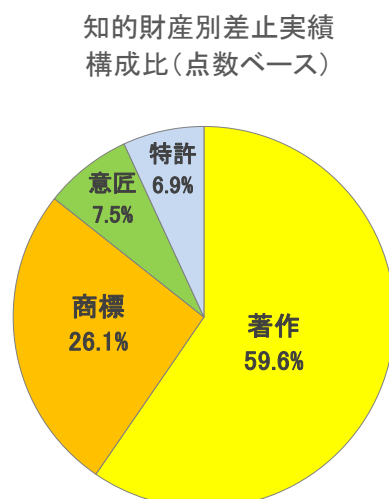
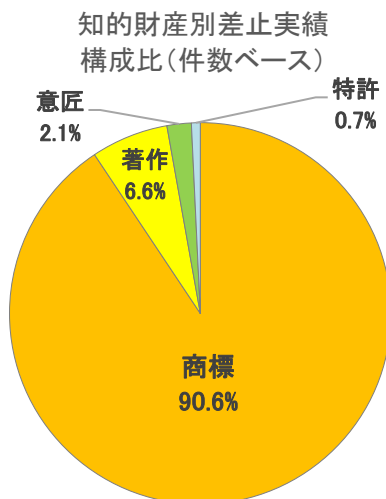
- 輸入差止件数は、中国来が1,386件（構成比61.1%、前年同期比84.5%）、次いでベトナム来が427件（同18.8%、同83.4%）、香港来が173件（同7.6%、同164.8%）となりました。
- 輸入差止点数は、中国来が100,833点（構成比59.7%、前年同期比26.7%）、次いで香港来が49,492点（同29.3%、同506.6%）、シンガポール来が7,552点（同4.5%、同約33倍）となりました。



（注） 四捨五入しているため、構成比の合計が100%とならない場合があります。

○知的財産別輸入差止実績

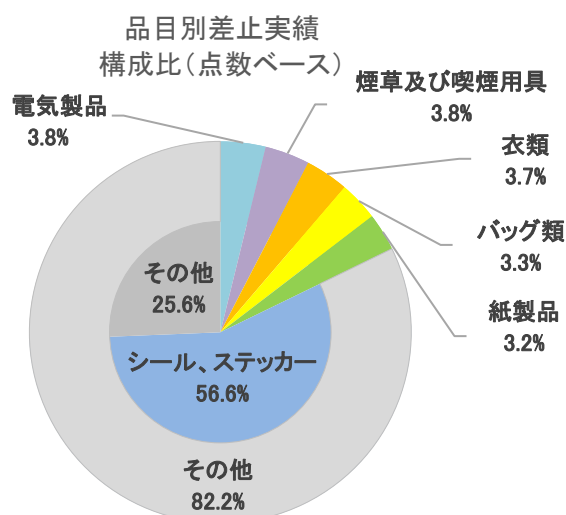
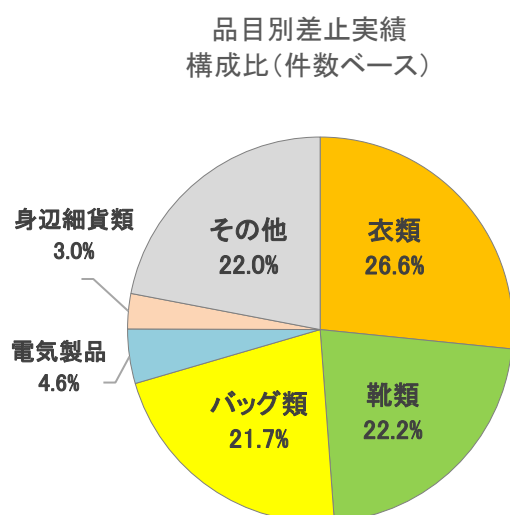
- 輸入差止件数は、商標権侵害物品が2,074件（構成比90.6%、前年同期比83.8%）で大半を占めています。次いで著作権侵害物品が150件（同6.6%、同283.0%）、意匠権侵害物品が47件（同2.1%、同130.6%）となりました。
- 輸入差止点数は、著作権侵害物品が100,562点（構成比59.6%、前年同期比88.4%）、次いで商標権侵害物品が44,038点（同26.1%、同43.4%）、意匠権侵害物品が12,602点（同7.5%、同302.6%）となりました。



（注） 四捨五入しているため、構成比の合計が100%とならない場合があります。

○品目別輸入差止実績

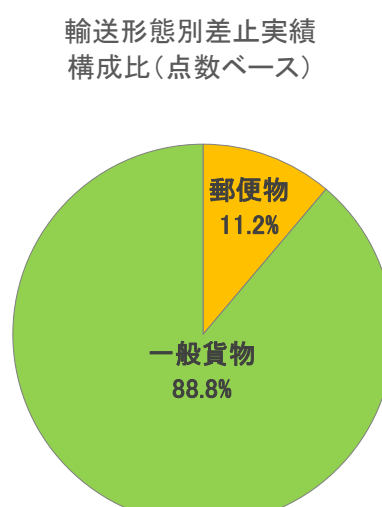
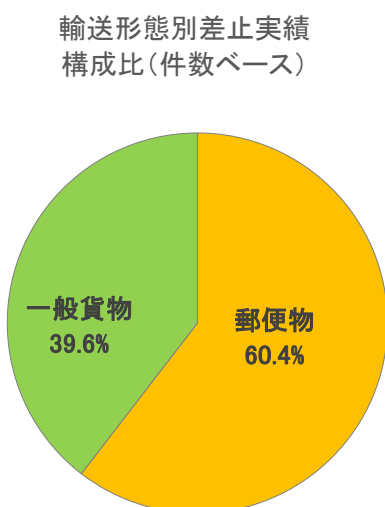
- 輸入差止件数は、衣類が 721 件（構成比 26.6%、前年同期比 75.8%）、靴類が 602 件（同 22.2%、同 88.9%）、バッグ類が 587 件（同 21.7%、同 74.7%）となりました。
- 輸入差止点数は、電気製品が 6,457 点（構成比 3.8%、前年同期比 75.2%）、煙草及び喫煙用具が 6,400 点（同 3.8%、同 3.6%）、衣類が 6,169 点（同 3.7%、同 46.3%）となりました。その他については、特にシール、ステッカーが差止全体の 56.6%と多数を占めています。



(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100%とならない場合があります。

○輸送形態別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、郵便物が 1,371 件（構成比 60.4%、前年同期比 66.0%）、一般貨物が 897 件（同 39.6%、同 178.7%）となっており、郵便物が約 6 割を占めています。
- 輸入差止点数は、郵便物が 18,875 点（構成比 11.2%、前年同期比 30.5%）、一般貨物が 149,925 点（同 88.8%、同 43.9%）となっており、一般貨物の割合が多くなっています。



(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100%とならない場合があります。